

新生戯曲展 謎解きの陥穽

宇里香菜

新生戯曲展 謎解きの陥穽

- A 陥穽（かんせい）落とし穴、人を落とし入れること
- B 歓声（かんせい）喜びの叫び声
- C 喚声（かんせい）驚きの叫び声
- D 喊声（かんせい）突撃の際の鬨の声
- E 感性（かんせい）印象を受け入れる能力
- F 完成（かんせい）出来上がる事

演出家

宇里香菜

鈴木 瑠璃夏

逆衣 藜（さかい あざか）女優28歳／長女18歳／彼女20歳／生徒22歳／
研究員26歳／姉18歳／犯人28歳

長女は小さい頃（3歳頃）から母親に女優になることを話していて、母親は常に
応援してくれていた。

幼稚園の時にお姫様役を演じる。

小学生の時に魔法使いの老婆役を演じる。

中学生の一年生の10月の文化祭で、主人公の敵役のFTXで男装を演じる予定だ
った。

※FTXとは、女性の体に生まれて、自身の性別についての認識が中性の人。

母親は、弟5歳、長女13歳の中学生の時にマンションから転落死（自殺の可能
性が高い）9月26日に救急車で運ばれる。10月3日まで意識が戻る事無く深

夜未明死亡。

母親は、家族への謝罪の気持ち等があったと思うが、遺書は無く真相は不明。

後日、母親は、家族に内緒で、母親の親友に多額（2000万円）のお金を貸していた事が分かる。

多額の資金は積み立てていたもの住宅購入の資金、子供達の学費等、老後の資金等の為の準備であった。

母親の親友は、お金を借りた翌日に海外へ、その後は行方知れず。

母親の生命保険金が出て、長女が小さい頃から目指していた女優になる為に、アクタースクールに通う資金となる。

女優を目指して、アクタースクールに通うが、3年後、突然閉鎖となる。

閉鎖の原因は、アクタースクールの経理担当者が不正な会計を行い横領し、運営資金を盗んだ為、小さい頃から目指していた女優の夢を他人の慾の為に潰された事に強い怒りを覚える。

運営者から謝罪とともに継続する気持ちのある生徒達は、運営者に強く押される形で、運営者の知り合いの別のアクタースクールに通う事になる。

その入会金と一年分学費は、運営者がお詫びの気持ちを込めて支払ってくれた。

その後、運営者が自己破産をした事を風の噂で聞く。

疑心暗鬼になっていた17歳の夏に、父親の勤めている会社の同僚と部下の失態を被る形で、父親が会社を解雇される。

失態の原因は、嫉妬による怨みで嵌められた。

同僚と部下は、上司と良く飲みに行き常に父親の悪口を言っていた。

それが徐々に父親の評価に繋がって下がっていった。

父親（一人親）は、仕事が終わり次第、帰宅する為、残業をしないイコール仕事を同僚や部下に任せて楽をしていると噂される。

父親は、解雇された後、精神的に参ってしまい半年休暇をとる。
その後、別の仕事を探し就職するが、給与は前職の半分となる。
一連の流れを知った長女は、家族の為に お金を稼ぐ方法を考えるようになる。
知恵と知識と経験を得る為に、様々なバイトをしながら勉強をする。

18歳の時に、自分たち家族を苦しめて来た「悪」から根刮ぎお金を稼いで行く。
この頃から少しずつ家族の為に お金を使って行く。

また組織的に進めて行き、お金の稼ぎ方を確立させて行く。
人事管理と収支管理を同時に行う事を思いつきその為に、構築していくシステム
に多額の投資を行う。
安定した資金を集めて行く為にタックスヘイブンに投資会社（投資組合）を設立
し、表向きの健全な運営を行うホールディングスを設立（投資）し、資産（株式、
債券、不動産、FX など）の運用を進めて行く。

自己の利益の為に、権力者達をお金の力で懐柔する。
方法としては、研究費などの名目で、自身が管理している会社から資金提供をし
ていく。
自身の名前は、使わずに会社の偉い人に知り合いがいるなど、濁すが資金提供を
確実にしてくれるので、研究所も大学もそれについては何も言わない。
実際、研究費は、何処も足りていないのが現状なので文句を言う必要もないし、
資金の元々の出何処が何処からなのかも聞く必要がない。

女優は、詐欺組織の末席幹部のひとり。そして実はボスである。

組織と実行犯との遣り取りは、ダークウェブを使用し、指示や金銭の受取方法などを伝えている。

※ダークウェブとは、ダークネット（インターネットを使用するが、アクセスするために特定のソフトウェア、設定、認証が必要なオーバーレイ・ネットワーク）に存在する World Wide Web コンテンツ。ダークウェブは Web 検索エンジンによりインデックス化されていない Web の部分である「深層 Web（Deep Web）」の小部分を構成しているが、時々、特にダークウェブのことを指す時に深層 web が間違っ使われることがある。

※IP アドレスでのみアクセス可能な WEB 上のサーバー。

実行犯が回収して来た金銭について仮想通貨に換金し、組織が指定した海外の会社のコインを購入する代金に当てさせる。そして組織が指定した別の海外の会社に、購入したコインを買い取って貰い、仮想通貨で支払われる、それが報酬となる。

マネーロンダリングを行う方法として、海外の本人確認の必要の無い取引所を経由しマイナー仮想通貨を使用させる。

※マネーロンダリング、資金洗浄（しきんせんじょう）とは、規制薬物取引、盗品などの贓物（ぞうぶつ）取引、身代金、詐欺、違法賭博、脱税、粉飾決算、裏金、偽札などの犯罪行為によって得た現金（汚い資金）から、出所を消し（汚れを洗い流し）、正当な手段で得た資金と見せかける（綺麗に見せかける）ことである。

実行犯は、9人をひとつのチームとして、相互に監視させ報告させる。

マネージャーは、9人をひとつのチームとして、相互に監視させ、実行犯チームをそれぞれが管理する。

エリアマネージャーは、6人をひとつのチームとして、相互に監視させ、マネー

ジャーチームを管理する。

幹部は、6人。エリアマネージャーチームを管理する。

ボスは1名。

組織 2,916名+1名

佐藤 秀彦

逆衣 一生（さかい かずお）父親55歳

妻が、弟5歳、長女13歳の時にマンションから転落死（自殺の可能性が高い）
9月26日に救急車で運ばれる。

10月3日まで意識が戻る事無く深夜未明死亡。

妻は、家族への謝罪の気持ち等があったと思うが、遺書は無く真相は不明。

後日、妻は、家族に内緒で、妻の親友（小学生の時から親友）に多額（2000万円）のお金を貸していた事が分かる。

多額の資金は積み立てていたもの住宅購入の資金、子供達の学費等、老後の資金等の為の準備であった。

妻に対して、気付いてあげられず申し訳ない気持ちになり塞ぎ込む。

近所からのクレームや噂により、家族を守るため2ヶ月後に引っ越す事となる。

長女の学区が変わる事を気にしていたが、長女から少し離れた方が良いと思うとの言葉を受けて、都内から千葉県に引っ越す。

長女が17歳の夏に、自身が勤めている会社の同僚と部下の失態を被る形で会社を解雇される。失態の原因は、嫉妬による怨みで嵌められた。

同僚と部下は、上司と良く飲みに行き常に自身の悪口を言っていた。

それが徐々に自身の評価に繋がって下がっていった。

自身（一人親）は、仕事が終わり次第、家族と過ごす時間を大切にする為、早め

に帰宅するそれが残業をしないイコール仕事を同僚や部下に任せて楽をしていると噂される。

自身は、解雇された後、精神的に参ってしまい半年休暇をとる。

解雇に伴い社宅から出る事となり、再度引っ越す事となる。

翌月アパートへ引っ越し、長女に解雇になった事を話しているうちに徐々に解雇になった原因が解って行く。

その後、別の仕事を探し就職するが、給与は前職の半分となる。

梶原 大洋

逆衣 鏡夜（さかい きょうや）弟10歳

山形 裕哉

宮野城 正義（みやのぎ まさよし）彼氏26歳／刑事32歳

大浦 俊春

武水 淳一郎（ぶすい じゅんいちろう）研究者38歳

杉本 克徳

加賀谷 雷太（かがや らいた）教授58歳

三宅 航平

浦木 亮太（うらき りょうた）警察官28歳

行動：下手奥側に演出家、上手手前に女優が板付き

照明：客電暗転（観覧席の照明が徐々にフェードアウトしていく）

緞帳：緞帳が開く

照明：舞台暗転（舞台上が暗い状態のまま）

演出家「969番、逆衣（さかい）藜（あかざ）さん。合格です」

照明：女優にスポットがあたる。

ト書：静寂から一気に緊張が解け俯きながら笑みが溢れる。

女優「ありがとうございます」

行動：女優が、ゆっくりと頭を下げる。

行動：手にした台本を見つめて

女優「新生戯曲展 謎解きの陥穽（かんせい）」

* 演出家の解釈部分① *

「驚くような速度で発展して行く現代社会」

「複雑な議論や予測不可能な仮説は、すべて確証の無い真実として成り立っています」

「目の前にある信頼や信用は、すべて情報化された記号に置き換わり管理されています」

行動：父親、長女、弟板付き（席に座る）

照明：明転

行動：父親は、新聞を読んでいる。長女は、スマートフォンを触っている。弟は携帯ゲーム機を持って遊んでいる。

ト書：長女が、おもむろにスマートフォンから父親の方を見ながら。

長女「ジヒドロゲンモノオキシドって知っている？」

父親「いや、知らないな」

長女「お父さん、よく海釣りに行くでしょ」

父親「ああ」

長女「実はね。海難事故で亡くなる死因の直接的な原因となっているらしいの」

父親「そうなのか」

行動：父親が読んでいた新聞を畳みながら

長女「最近、ニュースで3人に1人はがんで亡くなるっていうでしょ」

父親「ああ」

長女「調べてみたらね。末期がんの腫瘍細胞の中にも含まれているの」

父親「へえ」

長女「あと、毎年ように小さい子が気付かずに、この化学物質に触れて、火傷したりしているの」

父親「本当か、危ないな」

行動：父親が弟の方を見ながら

長女「世界の多くの軍事施設には、必ずと言っていいほど規制されることなく大量に保管されているの」

父親「そうなのか」

長女「ねえ、なんでみんな声をあげないのかな」

行動：大きくのけぞりながら

弟「あー負けちゃった」

行動：またゲームを開始する

行動：長女がお金が入った封筒を父親に渡す。

長女「少ないけど、家計の足しにして」

音響：家の電話が鳴る。

行動：長女が席を立ち電話機の方へ向かう。

照明：暗転

行動：父親、弟は下手へはける。

* 演出家の解釈部分② *

「例え証拠を並べて立証しても、検証が不可能で、再現性が無い結果と結論に辿り着き、証明出来ません」

「それは何故か」

行動：彼女、彼氏板付き。彼女は立った状態。彼氏は席に座っている。

照明：明転

行動：彼氏にゆっくり近付きながら

彼女「待った？」

彼氏「俺も今来たところ」

彼女「あー惜しかった今日も私の奢りかぁ」

行動：飲み物を片手に、席に座る

彼氏「いつも奢って貰ってなんだか悪いし、このルールもう辞めにしない？」

彼女「いや奢って貰うまでは止めない」

彼氏「う～ん」

彼女「そういえば昨日、世界戦は観た？」

彼氏「ううん観ていないなあ。どっちが勝った」

彼女「日本の勝利」

彼氏「良かったね。そうだ、相談って何？」

彼女「最近ね。電話とかハガキとかメールで、怪しい連絡が来るようになって、困っているの」

彼氏「ああ、電話 de 詐欺とかフィッシングメールの類いかな」

彼女「他にもあるの？」

彼氏「振り込め詐欺の中に、オレオレ詐欺、架空請求詐欺、還付金詐欺とか。後はオリンピック関連、マイナンバー関連の詐欺もあるよ。家電（いえでん）だったら自動通話録音機能のものもあるし、スマートフォンならアプリがあるから入れてみたら」

彼女「ふ～ん。そういうのもあるんだ。みんなそれぞれ対策しているんだね。私も気をつけるね」

彼氏「何かあれば、いつでも相談して」

彼女「うん、ありがとう。いつも頼りになる」

彼氏「そんなことはないよ。こういう相談も仕事のうちだから」

行動：彼女が飲み物を飲んでから

彼女「あっそうそう。今、調べている事があってね」

彼氏「ん？何？」

彼女「羊皮紙に書かれたヴォイニッチ手稿って知ってる？今から100年以上前に見つかって、未だ解明出来ていないんだって、手稿そのものも解らないことだらけだけど、一冊しか作っていないのに他人に譲り渡す筆者の心情も解らないよね」

彼氏「ふ～ん、そっかぁエジプトにあるピラミッドだって発見した当時は解らない事だらけだったんでしょ？不思議な事ってあるよね」

彼女「発見してもなかなか分からない事の方が多いよね。不思議な事と言えば、シュレディンガーの猫って生きている猫と死んだ猫の状態が重ね合って存在しているんだって」

彼氏「生きているのに死んでいる？」

彼女「こういう事って、考えれば考えるほど分からなくなるよね。表裏の匣（はこ）っていうらしいよ」

照明：暗転

行動：彼氏下手へはける。

行動：4階席から、警察官が下りて来る

行動：途中の観覧者に声を掛ける

警察官「成田警察署の浦木と申します。少しお時間頂いても宜しいでしょうか」

観覧者「○○○○○○」

警察官「ここ最近、全国で詐欺が急増しておりまして、不審な電話や身に覚えのない法律事務所や裁判所から葉書など届いていないですか」

観覧者「○○○○○○」

行動：観覧者に返答があった場合は、アドリブで返す

警察官「アドリブ」

警察官「ご協力ありがとうございます」

行動：返答がなかった場合は、もう一人観覧者に声を掛ける。

ト書：流れは同じ。

行動：見回しながら、4階へはける。

* 演出家の解釈部分③ *

「老衰で命を終える事が少ない自然界で、不老不死が無い理由を考えた事がありますか」

「命を繋ぐ度に貧富の差が広がっている不可解な結末を繰り返している現実」

行動：下手側に教授。上手手前側に生徒板付き

照明：明転

生徒「倫理学の時間って聴いているだけなのに、なんだか頭が良くなった気になる」

教授「時間を止める事は出来ません。メトシェラですら969歳で亡くなりました」

生徒「メトシェラ」

教授「人は、いつか必ず死を迎える。そのことを忘れない様にと造られたのがエヴォラの人骨堂です」

生徒「エヴォラ」

教授「CRISPR、遺伝子の解析、編集などを行い記憶力の向上や病気への耐性、寿命の延命などの魅力に抗えない人が現れるのも、それほど遠い未来ではないと思います」

生徒「クリスパー」

教授「ニコラ・テスラの3・6・9の壮大さを知っていればという言葉も」

生徒「ニコラ・テスラ」

教授「倫理の途から決別する未来が、ピッチドロップの様に緩やかに始まっているのです」

生徒「ピッチドロップ」

教授「・・・・・・・・」

生徒「言葉の本当の意味が理解出来ると新たに生まれる事もあるかも」

教授「この世は、99%の真実と1%の嘘で出来ています」

* 演出家の解釈部分④ *

「片方では多様性を認め、もう片方では排除しようとしています」

「細胞の数を合わせ、遺伝子を壊変すれば、すべての生物が人類として再構成さ

れ淘汰されます」

「多極化した科学に倫理観を持ち込む禁忌」

研究者 A「DV を繰り返す人の脳と行動について教えてくださいか」

研究者 B「アイアンメイデンのように悖徳感（はいとくかん）を反芻して快樂を得ようとしている場合が多いですね」

研究者 A「相手が嫌がる事を快感として誤認識しているということですか。ただそれだと相手が逃げ出してしまう可能性が高くなりますよね」

研究者 B「そこで生かさず殺さず優しさに触れさせては恐怖で包んで、自分の都合の良い人間以外とは極力接触させないようにします」

研究者 A「そうすると日常生活を行う事が難しくなりますよね」

研究者 B「ただ寄生する為には宿主がいないと生存して行けないですから、共依存の関係が多いのはそういう理由です。勿論、すべてではないですよ」

研究者 A「SNS の不特定多数の『いいね』や『シェア』が承認欲求を満たすタイプの方は、それが小さな快感に繋がる事がありますよね。」

研究者 B「それも間違えば犯罪に巻き込まれる可能性があります」

研究者 A「承認欲求を満たしたい被害者と征服感を満たしたい加害者の場合は、本人たちが分からないまま快樂に呑み込まれていますよね」

研究者 B「本当は不特定多数の嗜好に巻き込まれていることを知らないまま、自分の意思のように繰り返し続けて、どんどん欲求が強くなってしまい過激な事をしても承認欲求を満たそうとします。それにつられるかたちで征服感が増大して行く悪循環に陥ります」

研究者 A「不特定多数の嗜好が、犯罪に巻き込んで行く可能性を助長している場合もあるということですね」

研究者 B「そうですね」

* 演出家の解釈部分⑤ *

「一度放った言葉や行動は、行方不明になりながら無制限に広がって行きます」

「自惚れから操られている事すら気付かずに、文明の墮落と共に失われた技術と知識、妨げは抑止にはなりません」

「片方の正義は英雄を生み出し、もう片方の正義は暴君を生み出す」

姉 18歳 弟 10歳

姉「ねえ鏡夜、さっきリビングでやっていたゲーム。何やっていたの」

行動：弟は漫画本を読んでいる。姉に声を掛けられて顔をあげる。

弟「ん？お姉ちゃんから貰った RPG だよ」

姉「そっかあ、アレ面白いよね。仲間とか強い武器とかお金とか集めて、ボスを倒すんだよね」

弟「うん、そうだよ。今ねボスの手前のところなんだけど、守っている四天王が強くてなかなか勝てないんだよね」

姉「じゃあ、まだボスには、逢っていないんだね」

弟「うん、まだ。レベル上げなくちゃ」

姉「そうかあ。いつかヒーローとボスの戦いを見てみたいね」

弟「うん、ボスと戦う時は見せてあげるね」

姉「ありがとう。ボスに逢えると良いね」

* 演出家の解釈部分⑥ *

「対極に在る国家間で進められた新たに生み出される技術を隠蔽し、盗み合いをする為に代理の争いが例えあったとしても、答えを探せば見えない合意の中に沈

み、覆い被せる様に新たに生まれた戯曲が展開される」

「今、あなたが観ているこの世界は、確証のない真実か、それとも安心させてくれる偽りか」

ト書：最初の位置と同じ場所から

演出家「969番、逆衣（さかい）藜（あかざ）さん。合格です」

照明：女優にスポットがあたる。

ト書：静寂から一気に緊張が解け俯きながら笑みが溢れる。

女優「ありがとうございます」

行動：女優が、ゆっくりと頭を下げる。

行動：刑事と警察官が、劇場4階席から通路階段を下りて舞台へ向かって行く。

行動：手にした台本を見つめて

女優「新生戯曲展 謎解きの完成」

行動：刑事と警察官に気付き振り向く。

女優「あれ、正義。どうしたの？」

刑事「桜 雪絵（さくら ゆきえ）本名、逆衣 藜（さかいあかざ）」

ト書：女優は詐欺の時に使用していた名前（桜 雪絵）のひとつを伝えられて、警察が来た事は理解するが、決して答えには辿り着けない事も知っている。

刑事「詐欺の件についてお話をお聴きしたいので署まで同行して頂けますか」

女優「明日から海外旅行に行く予定なので、それまでなら良いですよ」

刑事「・・・・・・・・黎（あかざ）」

女優「来るの遅かったね。初めて正義に奢って貰うね」

舞台照明：暗転

行動：女優、刑事、警察官が下手へはける。

行動：演出家が暗闇の中から現れる。

照明：演出家にスポットが当たり、ゆっくりと左手に抱えていた本を開く。

動画：スタート（添付ファイル）

「如何でしたか。女優が仕掛けた謎は解けましたか」

演出家「驚くような速度で発展して行く現代社会」

演出家「複雑な議論や予測不可能な仮説は、すべて確証の無い真実として成り立っています」

演出家「目の前にある信頼や信用は、すべて情報化された記号に置き換わり管理されています」

演出家「例え証拠を並べて立証しても、検証が不可能で、再現性が無い結果と結論に辿り着き、証明出来ません」

演出家「それは何故か」

演出家「老衰で命を終える事が少ない自然界で、不老不死が無い理由を考えた事がありますか」

演出家「命を繋ぐ度に貧富の差が広がっている不可解な結末を繰り返している現実」

演出家「片方では多様性を認め、もう片方では排除しようとしています」

演出家「細胞の数を合わせ、遺伝子を壊変すれば、すべての生物が人類として再構成され淘汰されます」

演出家「多極化した科学に倫理観を持ち込む禁忌」

演出家「一度放った言葉や行動は、行方不明になりながら無制限に広がって行きます」

演出家「自惚れから操られている事すら気付かずに、文明の墮落と共に失われた技術と知識、妨げは抑止にはなりません」

演出家「片方の正義は英雄を生み出し、もう片方の正義は暴君を生み出す」

演出家「対極に在る国家間で進められた新たに生み出される技術を隠蔽し、盗み合いをする為に代理の争いが例えあったとしても、答えを探せば見えない合意の中に沈み、覆い被せる様に新たに生まれた戯曲が展開される」

演出家「今、あなたが観ているこの世界は、確証のない真実か、それとも安心させてくれる偽りか」

照明：舞台暗転

緞帳：緞帳を閉める。